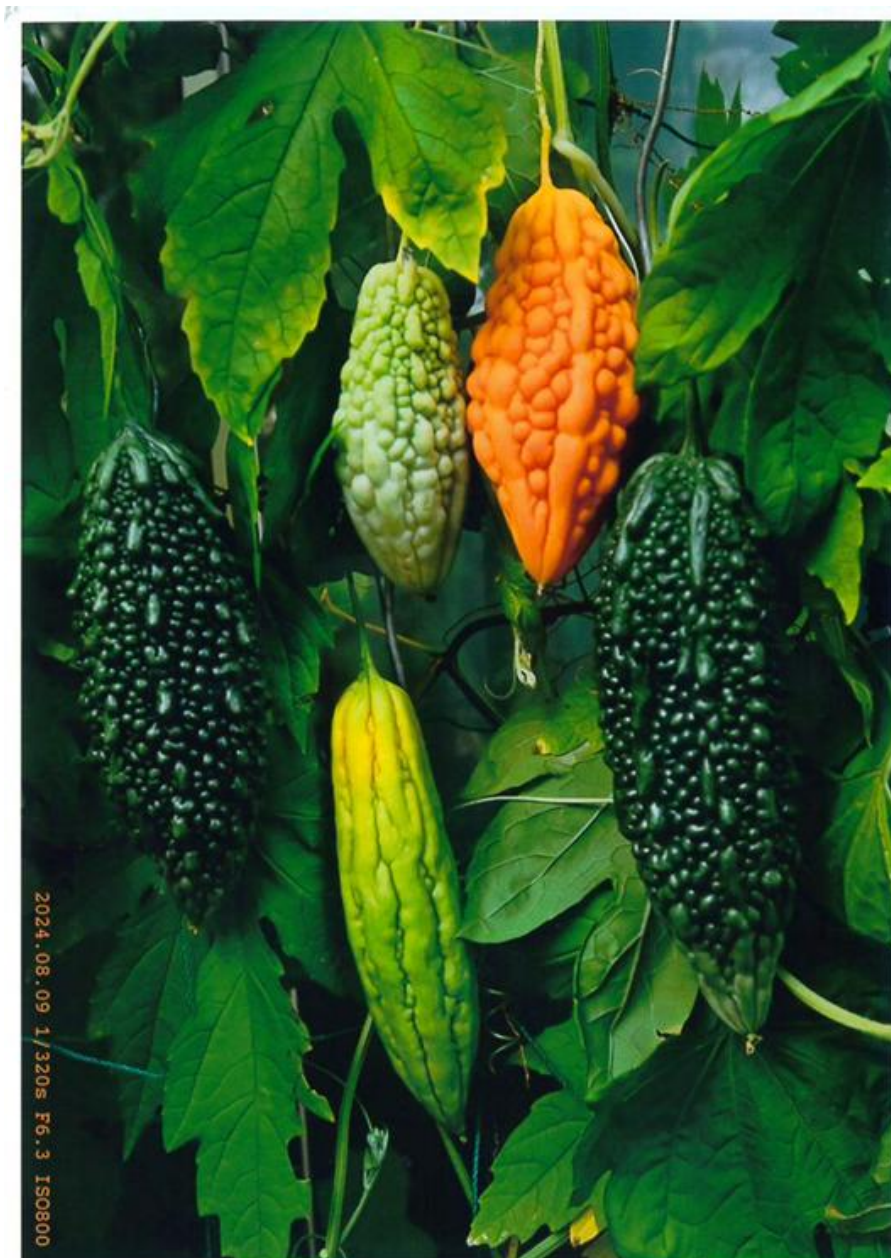


令和 6 年度
「みどりのカーテン」普及事業
実績報告書



認定特定非営利活動法人
えどがわエコセンター

[目次]

第1章 事業概要 -P1

1. 趣旨・経緯
2. 実施内容
3. 実施スケジュール

第2章 事業内容と経過 -P2-5

1. 講習会等
2. みどりのカーテンミニ講習会
3. フォトコンテスト
4. 交流会
5. モニターからの報告

第3章 「モニター」報告の分析 -P5-9

第4章 総括 -P9

1. 評価
2. 課題と対策

[参考資料]

付録【ゴーヤの「みどりのカーテン」の育て方についてのQ&A】-P10-11



第1章 事業概要

1. 趣旨・経緯

えどがわエコセンターでは、自然のめぐみを生かして地球温暖化防止に向けた区民の取り組みを進めるために、平成22年度から「みどりのカーテン普及事業」を行っている。

みどりのカーテンは、時として我慢や忍耐を必要とする、行き過ぎた地球温暖化対策ではなく、比較的労力も少なく、しかも楽しく実施でき、結実や見た目の涼しさなど副次的な効果も期待できる事業である。

2. 実施内容

江戸川区内で、みどりのカーテン作りに向けた植物を育てていただける方をモニターとして440組を募集し、えどがわエコセンターが主催する講習会を受講したモニターの方々にゴーヤの苗2鉢とネット(90cm×180cm)を提供する。モニターは、植物を育てながら、みどりのカーテン作りに取り組むと共に、報告書を提出、その効果について検証しながら次年度以降の事業運営につなげていく。

3. 実施スケジュール

4月1日(土)	「広報えどがわ」4月1日号でモニター募集
4月19日(金)～	モニター向け講習会を開催(全12回)
4月19日(金)～	モニター各自で、みどりのカーテンを育成
5月16日(木)	エコカンパニー等団体向け講習会を実施
5月19日(日)	西葛西図書館で講習会を開催 ※依頼事業
6月2日(日)	環境フェアみどりのカーテンミニ講習会を開催
10月8日(日)	区民祭りでフォトコンテストを実施

第2章 事業内容と経過

1. 講習会等

講習会(12回)やその他事業(3回)の開催日程、参加人数は、下表の通り。

その結果、モニター件数は、203件(総勢 338名)となった。

回	日時	会場	モニター数
1	4月19日(金) 10:00~11:30	タワーホール船堀 4階 研修室	26
2	4月20日(土) 10:00~11:30	葛西区民館 集会室1	24
3	4月22日(月) 10:00~11:30	タワーホール船堀 産業振興センター	17
4	4月24日(水) 10:00~11:30	小岩区民館 集会室1・2	15
5	4月25日(木) 10:00~11:30	新田コミュニティ会館 集会室2・3	8
6	4月26日(金) 10:00~11:30	グリーンパレス 集会室401	23
7	5月8日(水) 10:00~11:00	小松川区民館 集会室2・3	21
8	5月9日(木) 10:00~11:30	葛西区民館 集会室1	15
9	5月10日(金) 10:00~11:30	東部区民館 集会室つつじ・りんどう	20
10	5月11日(土) 10:00~11:30	小岩区民館 集会室1・2	13
11	5月14日(火) 10:00~11:30	グリーンパレス 集会室401	12
12	5月16日(木)18:00~20:00	タワーホール船堀 産業振興センター	9
①	グリーンプラン推進校	新堀小学校 (5/17 金)	1(52)
②	5月19日(日) 14:00~16:00	西葛西図書館 ※依頼事業	1(26)
③	6月2日(日) 10:00~16:00	環境フェア ミニ講習会	1(57)
合計			338

○講習会の様子

4/19 タワーホール船堀	5/10 東部区民館
	

2. みどりのカーテンミニ講習会

6月2日環境フェアの際に、みどりのカーテンミニ講習会(第10回)を実施した。みどりのカーテン作りに向けた植物を育てていただける方に15分の育成講習会3回を行い、ゴーヤの苗2鉢とネット(90cm×180cm)を提供した。

当日は晴天の下、57名が参加し、植物を育てながら、みどりのカーテン作りに取り組むと共に、その効果について検証しながら次年度以降の事業運営につなげていく。



3. フォトコンテスト

10月13日(日)区民まつりで行われた、フォトコンテストでは3位が108票、2位が118票、1位の作品は2位と89票差の207票であり、総投票数は1,132票と大いに盛り上がった。

4. 交流会

今回の交流会は10月5日(土)に行われ、後半のワークショップはソイワックスによるエコキャンドルづくりを行った。

交流会はゴーヤレシピによるランチボックスも好評で話が弾み、モニター同士の交流が盛んにおこなわれ、参加者から育成の工夫等おおいにあげられた。

5. モニターからの報告

以下に、モニターから寄せられた報告からコメントをいくつか紹介する。

【みどりのカーテン効果】

- 初めての体験で楽しかった
- 講習会で土袋のまま育てる方法を聞いて、昨年よりも良く育った
- 心が和みさわやかに過ごせた
- チョウやてんとう虫が飛んできてくれた
- 葉も大きく花もたくさん咲いて暑さを凌げた
- 実が少なかったが葉の茂りが良かった
- 家族とのコミュニケーションが深まり省エネ意識も高まった
- 団地にもっと「みどりのカーテン」を増やしたい
- 新しい土と追肥を多めにしたら大いに茂った

【講習会の評価】

- 指導の通り育てたところ、昨年よりうまく育てることができた
- 今までは自己流でカーテンにならなかったが、講習のおかげでよく育った
- みどりのカーテンの育て方がわかり、楽しく育てられた
- 初めてだったが講習会で丁寧に教えて頂きとても役にたった
- 報告書の作成が面倒だ
- 毎回講習会で新たな発見がある

【うまくいかなかった事例】

- 暑すぎて土が乾き葉も実も黄色くなってしまった
- 近くにトウモロコシを植えたら枯れてしまった
- 猛暑で水やりに失敗し枯れてしまった
- 花が咲いたが実はなかった

- 暑さに負けた
- 追肥のタイミングが分からず、全然茂らなかった
- 初めは張り切っていたが日に日にその気が薄れて育てきれなかった
- プランターが小さく土が少なかった

【質問や要望】

- 摘芯・誘引がどうしても分からない
- 実の数を増やし大きな実にするにはどうしたらよいか
- 講習会でゴーヤのレシピを教えてください
- 大きい実がなる苗がいい、小さい実だと収穫のタイミングが判らない

第3章 「モニター」報告の分析

(1) 報告提出率が向上

今年度の最終報告者は 196 名で、モニター参加者(省その他モニター)203 名の 96.6%となり、提出率が向上した。これは、報告書提出の重要性を訴えたレターの送付やQRコードによる報告(全体の 63.5%)の改善によって、報告のハードルが下がり提出しやすさが一因と考えられる。次年度に向けても、育成に失敗したとしても報告書提出が必須であること、報告書提出がなぜ必要なのかについてモニター参加者に十分理解していただくとともにQRコードによる報告(含む写真)の更に改善することで、提出率100%を目指していく。

(2) 設問および回答状況の分析=P8・9 グラフ参照

最終報告では、◎みどりのカーテンの取り組み経歴、◎方角、◎植え付け方法、◎効果、◎育成に関する工夫、◎その他の工夫、◎育成結果(結実数など)、◎来年度に向けた意欲、◎収穫数の9つの項目について尋ねている。

各項目について見てみると、取り組み経歴では、1年目～3年目が全体の 64%を占めていて前年よりやや減少、5年以上が35%と前年よりやや増加した。みどりのカーテンを新たに取り組む参加者は増えたが2年目の取り組みが減少した。植え

付け方法では、プランターが 80%を占めている。カーテンの面積は合計で 638.8 m²で昨年より縮小であった。カーテン効果については、十分育成した方からはみどりのカーテン効果があったと回答があり、例年通り「花や葉の緑に心がいやされた」が最も多く、コミュニケーションが取れたことが2位に続いている。なお「効果を感じなかった」は、育成に失敗したモニターからのものである。育成に当たって工夫した点では、ほとんどのモニターが摘心・追肥・誘引を行っているが、葉の茂りや結実数が少ないとの感想から摘芯が正しく行われているかが懸念される。次年度の講習会ではさらに詳しい説明が必要と思われる。育成結果では、「大変良く育った」「良く育った」を合わせると 62%で昨年に比べると 10%UP,講習会の成果とモニターの取り組みが結果となっている。

収穫数では、天候不順・猛暑などの影響で結実数が少ないとの報告が散見されたが、育成十分なモニター(地植え)からは 60 個以上の結実数があり、10~19 個が 24%で最多であった。来年度に向けた意欲では、モニターの 81%が「取り組みたい」との回答で昨年度より 10%低下しており、年々「どちらとも思わない」・「取り組まない」の回答が増えていることは猛暑などにより育成が難しくなっていることが考えられる。

みどりのカーテンが持続可能な環境問題への取り組みであり、CO₂ 削減のもっとも取り組みやすいものであることを広めていきたい。

次年度に向けて、「あまり育たず」「全く育たず」の回答を分析し、対策を示すことで良い育成結果が増えるよう努めていきたい。

(3) CO2吸収・排出削減効果の試算(参考値) = 下記参照

カーテンの幅と高さから面積を算出し、みどりのカーテンの育成に伴うCO2の吸収量とエアコン使用低減に伴うCO2排出削減量を試算した【※1】。それによると、CO2吸収量は 2.236kg、CO2排出削減量は1,969kgとなり、合わせて1,969kg-CO2 の削減効果があったものと考えられる。杉の木に換算【※2】すると約 140.6本分の効果があった。

【※1】 CO2 の吸収量※1-1、排出削減量※1-2 とともに、草津市「小」エネルギー推進市民フォーラム・草津市環境課が平成 19 年に実施した測定結果及び算出方法等に従って算出した。CO2 の排出削減量についてはカーテンの効果で抑制された冷房の消費電力量が1~2割程度(16.22%)あった結果を用いている。

※1-1「CO2 吸収量」

植物(ゴーヤ)の CO2 吸収量 一年草で CO2 の貯蔵期間が短いため参考値として扱う。
みどりのカーテン面積 $638.8\text{m}^2 \times 0.0035\text{kg-CO}_2/\text{m}^2 \doteq 2.236\text{kg-CO}_2$

【参考】公害健康被害補償予防協会より

植物(ゴーヤ)の CO2 吸収量は $0.0035\text{kg-CO}_2/\text{m}^2$

※1-2「CO2 排出削減量」

エアコンの利用抑制による CO2 削減量(有効回答数 196件)

$196\text{件} \times (161\text{kWh} \times 0.39\text{kg-CO}_2/\text{kWh}) \times 0.16 \doteq 1,969\text{kg-CO}_2$

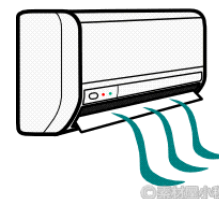
【参考】

経済産業省『2013 省エネ性能カタログ 2013 年夏』より

冷房期間消費電力量 = 2013冷房能力 2.2kW(6~9 畳)寸法フリー 161kWh

冷房期間 3.6ヶ月間(6月2日~9月21日)の消費電力量(kWh)

二酸化炭素排出係数(0.39kg-CO2/kWh)は、環境省「(家庭からの二酸化炭素排出量算定用)排出係数一覧」平成 18 年 6 月を引用

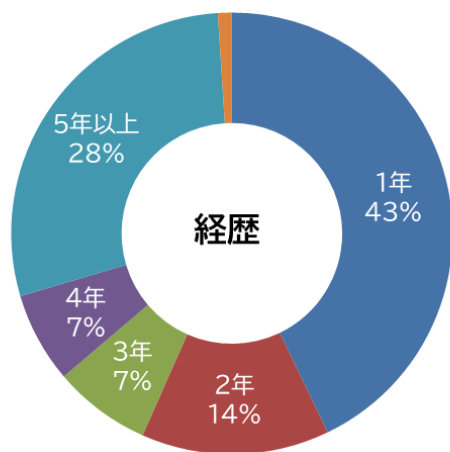
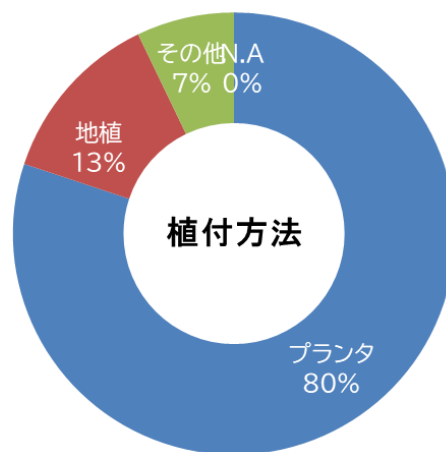
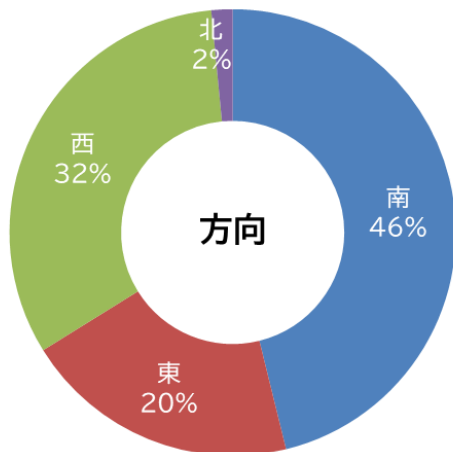


【※2】「杉の木に換算」

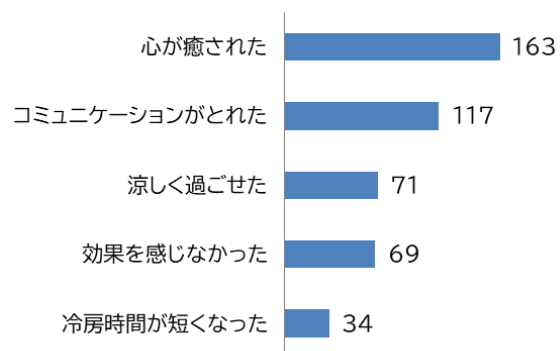
杉の木換算とはそれだけの量の CO2 を吸収するとされている杉の木の本数のことである。植物は一般に CO2(二酸化炭素)を吸って酸素を吐き出す。杉の木一本(杉の木は 50 年杉で、高さが約 20~30m)当たり 1 年間に平均して約 14kg の二酸化炭素を吸収するとして試算している。

$1,969\text{kg-CO}_2 \div 14\text{kg-CO}_2/\text{本} \doteq 140.6\text{本}$

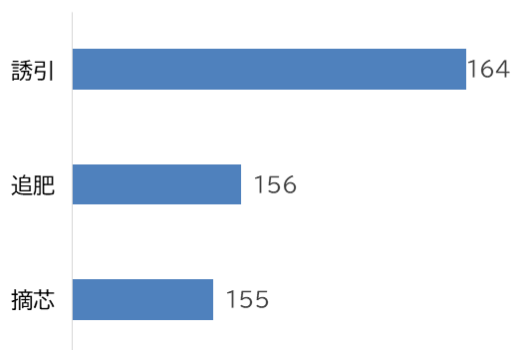
【参考】環境省・林野庁『地球温暖化防止のための緑の吸収源対策』より



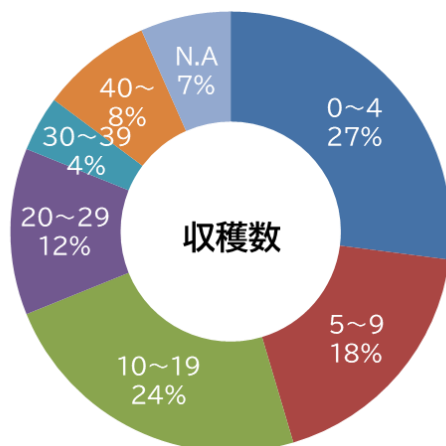
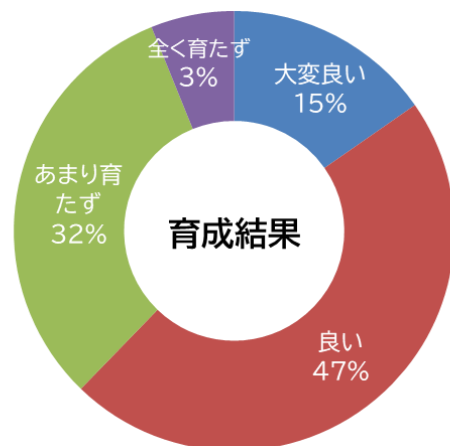
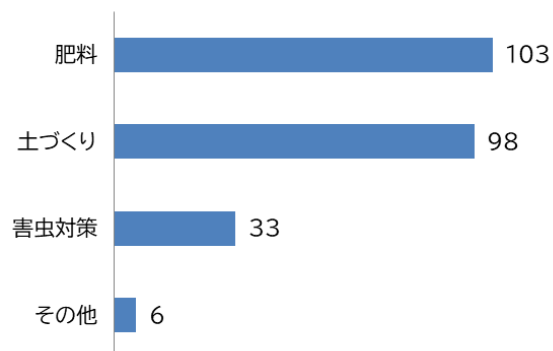
みどりのカーテン効果

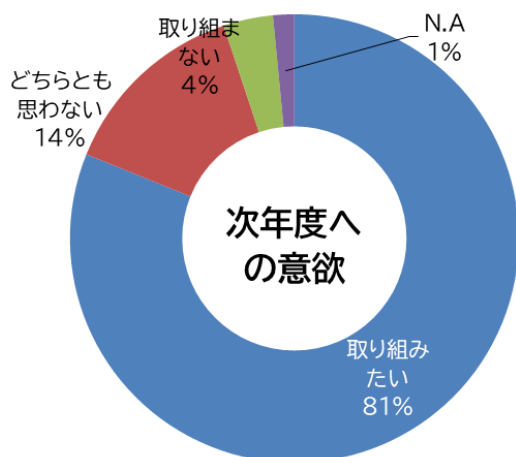


工夫



その他の工夫





第4章 総括

1. 評価

みどりのカーテン効果で多く寄せられた意見では、「心が癒された」が1位で、次に「コミュニケーションがとれた」が続き、視覚的効果や人と人との繋がりや心を通わせる tool となっているとの印象を受ける。みどりのカーテンが地球温暖化防止・持続可能な社会といった効果や必要性について理解を深めるよう講習内容の充実を図る必要がある。今後は、学校や公共施設、事業所等にみどりのカーテンへの取り組み・モニター参加を呼びかけ、CO₂排出削減や SDGsへの取り組みに繋げていきたい。育成結果アンケートでは、モニター1年目の参加者から「大変良い」の回答が多数得られており、講習会開催効果の高さが読み取れる。その一方で、経歴 3～5年以上のモニターから「今年は失敗」の回答があり、失敗原因解明が必須である。

2. 次年度に向けた課題と対策

引き続き、学校、公共施設、事業所へモニター参加を働きかけ、みどりのカーテンを環境教育の一環と捉えさらなる拡大を図りたい。報告書の提出率は、QRコード導入改善により 96.6%内 QRコード提出者が 63.5%と紙ベースの提出者を更に上回り、次年度は提出率 100%を目指していきたい。

講習会では、単に育て方を伝えるのではなく、みどりのカーテンの効果や必要性、脱炭素社会づくりに向けた行動へ促すなど、講習内容を掘り下げていきたい。さらに、モニター参加者には自分たちの行動の必要性を感じてもらい、CO₂ 排出削減・SDGsの取り組みとして広げていきたい。

付 録

【ゴーヤの「みどりのカーテン」の育て方について Q&A】

【Q1】:どのくらいの高さまで伸びるの？

日当たりや気候、土壌・肥料等の条件にもよりますが、2～3m くらいに生長します。一般的に植物は根の育ち方が地上部の大きさに影響します。プランターで栽培する場合は、深く根を張れるよう大きめのものを使用し 基本 1 苗 10 リッターの土が必要です。

【Q2】:ベランダやバルコニーでもできますか？

プランターを使用すれば十分栽培できます。プランターは落下しないようベランダの手すりの内側に置いてください。ネットや支柱は手すりや柱にしっかり固定し、日々の水やりや花や葉の落下に注意しましょう。

【Q3】:お風呂の残り湯をあげても大丈夫？

入浴剤を使っている場合は、残り湯を水やりに使用しないでください。生育に影響する成分が含まれている場合があります。入浴剤を使っていなくても、お湯だと根を傷めてしまうので、十分に冷めてからあげてください。貯めた雨水も水やりに利用できます。

【Q4】:ネットを張るときに注意しなければならないことは？

ネットは、風でバタバタ動いたり、たるんだりしないように、下部はくいやブロック、ベランダの手すりなどにしっかり固定し、上部は棒やロープを通してピンと張ってください。

【Q5】:「摘芯(てきしん)」はどうしたらいいの？

まず、親ズルが 50～60cm くらいになったら摘芯します。指先やハサミなどで先端を切ってください。その後は、数回ツルがネットからはみ出した時などに摘芯してください。摘心が多くの子ズル・孫ズルを作り多くの結実になります。

【Q6】:「誘引(ゆういん)」はどうしたらいいの？

初めのころは、ツルを横方向に誘引して扇形に仕上げていくと、きれいな形の「緑のカーテン」になります。ヒモやビニールタイ、ワイヤーなどを使いますが、きつく締めつけないうち余裕をもたせて固定してください。ツルが上へ伸びすぎたら下に誘引することもできます。

【Q7】:葉が黄色くなって元気がない？

水のやり過ぎによる根腐れと肥料不足の両方が考えられます。まず、土の状態をよく観察してください。朝に水やりをしている場合で夕方になっても表面の土がまだ湿っている(特に、土を手で握って水がにじむ)のであれば、水のやり過ぎだと思われる。水のやり過ぎでない場合は、肥料不足と思われる。花が咲き実がつく生長が著しい時期には、適量の肥料を 2~3 週間ごとによく観察しながら与えてください(“追肥”といいます)。

【Q8】:海からの風で塩害が起きますか？

葉に塩分を含んだ海からの風が当たると枯れてしまうことがあります。時々葉にも水をかけてあげると塩分を洗い流すことができ、虫の被害予防にもなります。





令和 6 年度「みどりのカーテン」普及事業実績報告書

令和 7 年 3 月 吉日 発行

編集・発行：認定特定非営利活動法人えどがわエコセンター

〒134-0091 江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3 階

電話 03-5659-1651 FAX03-5659-1677